

爬虫類

-はちゅうるい-

からだ うろこ せきつい どうぶつ
 体が鱗におおわれた脊椎動物。
 ちゅうこうせい はちゅうるい おお にっこうよく
 昼行性の爬虫類の多くは、日光浴で
 からだ あたたか かつどう
 体を温めてから活動をはじめます。



□ニホンスッポン (カメ目スッポン科)
 ほか こと こうら
 他のカメと異なるやわらかい甲羅が
 ちゅうちょう ちから つよ はな
 特徴。かみつく力が強く、なかなか離さない
 おお ごとい ちゅうい
 ので、大きい個体には注意しよう。



□ニホンカナヘビ (トカゲ目カナヘビ科)
 かわ うろこ なが しっぽ
 ザラザラとした乾いた鱗と長い尻尾が
 ちゅうちょう でき なが しっぽ き はな
 特徴。敵におそわれた時は尻尾を切り離
 に
 し、おとりにして逃げる。



□ヒバカリ (トカゲ目ナミヘビ科)
 さいだい ちい くる
 最大でも60cmほどの小さな黒いヘビ。
 ちゅうちょう かつどう みずべ
 早朝や夕方によく活動し、水辺やその
 しゅうへん ぐさ み ちゅうい ひつよう
 周辺の草むらで見られる。毒はない。



□ミシシッピアカミミガメ (カメ目ヌマガメ科)
 め うし あか もよう
 目の後ろに赤い模様があるカメ。
 ちゅうたい ぜんしん あか みどりいろ
 幼体は全身が明るい緑色で、「ミドリガ
 よ さた けんさん がいらいしや
 メ」と呼ばれる。北アメリカ原産の外来種。



□ニホンヤモリ (トカゲ目ヤモリ科)
 じんか しゅうへん せいそく こんちゅう
 人家の周辺に生息し、昆虫やクモなどを
 た やび けい こま
 食べる。指にびっしりと生えた細かい毛を
 つか かべ のぼ
 使い、壁を登ることができる。



□アオダイショウ (トカゲ目ナミヘビ科)
 じんか しゅうへん せいそく
 人家の周辺にも生息するヘビ。ネズミや
 たき のぼ ちゅうい どりす
 カエルのほか、木登りが得意で、鳥の巣
 たまご た ちゅうい
 の卵も食べる。毒はもっていない。



□ヤマカガシ (トカゲ目ナミヘビ科)
 あか くる もよう
 赤と黒のまだら模様をしたヘビ。
 ちゅうい おおほく ひんちゅう きょうりよく ちゅうい
 上あごの奥歯に非常に強力な毒をもって
 うろ さい ちゅうい ひつよう
 いるため、見かけた際には注意が必要。



□クサガメ (カメ目イシガメ科)
 こうら ほん せんじょう も あ
 甲羅に3本の線状の盛り上がり(キール)
 ちゅうたい たいしよく
 がある黒っぽい体色のカメ。
 けん かん だ
 危険を感じると臭いを出す。



□ヒガシニホントカゲ (トカゲ目トカゲ科)
 あか しっぽ せいちゅう
 あざやかな青い尻尾は成長するにつれて
 いろ せいだい ぜんしん ちいろ
 色がうすくなり、成体は全身がうす茶色に
 なる。



□シマヘビ (トカゲ目ナミヘビ科)
 あか こうさい くる ほん もよう ちゅうちょう
 赤い虹彩と黒い4本のしま模様が特徴の
 こけきき でき せいかく ごとい おお
 ヘビ。やや攻撃的な性格の個体が多い
 ちゅうい
 が、毒はもっていない。

